

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12549	事務事業名	新南陽総合支所管理運営事業費		
担当部・課名	新南陽総合支所・地域政策課	評価者 (課長)	上杉 方治	評価責任者 (部長)	松村 悟

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	900302	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)増加する歳出の抑制			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	新南陽総合支所庁舎	事業の目的 (意図)	【施設】来庁者や職員の安全性と利便性を優先に庁舎の維持管理を行う。 【運営】維持管理費の削減を図る。
事業の内容 (手段)	・施設、設備の保守管理 ・施設設備の維持修繕 ・電話交換、受付案内業務 ・夜間、休日の宿日直業務 ・行政財産管理 ・光熱水費削減の取組み		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	施設管理経費削減	目標項目/達成項目		千円	目標値	40,000	39,000
				実績値	36,079	33,625	
				達成度(%)	110.9%	116.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	40,691	39,148	33,816	37,232
うち一財		千円	38,994	37,431	32,157	36,642	17,000
(決算額)	直接事業費	千円	36,079	33,625		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	34,349	32,005		光熱水費等の維持管理経費の削減及び嘱託職員1名減のため。	
	正職員人件費	千円	2,222	5,862			
	人工数	人	0.30	0.80	1.16		
	支出コスト	千円	決) 38,301	決) 39,487			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・西消防署の建設に伴い、平成30年度に新南陽総合支所庁舎を解体予定		課題・問題点	□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 ・庁舎の耐久性が低く、建物本体や設備の老朽化が著しい。 ・管理運営費の削減に取り組んでいるが、施設の老朽化に伴う修繕費は増加する可能性が高い。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・庁舎の老朽化に伴い、修繕費については増加傾向であるが、平成30年度には庁舎を解体予定のため、維持管理経費の削減が見込まれる。 ・新南陽総合支所庁舎の解体に伴い、仮庁舎の選定が必要となる。		評価責任者コメント	平成30年度には、新南陽総合支所の仮庁舎が必要となるが、市民の利便性には十分配慮するとともに、維持管理経費の削減に努める。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
市民の安心安全を最優先に、平成32年度中の供用開始を目指し西消防署を整備するため、総合支所を解体し、総合支所機能を仮庁舎へ移転(平成30年8月予定)する必要があることから、平成30年度は引越し費用等の臨時的経費が必要となり一時的に予算が増額となるが、移転後は光熱水費等の維持管理経費の大幅な減額が見込まれる。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽総合支所管理運営事業	【施設】来庁者や職員の安全性と利便性を優先に庁舎の維持管理を行う。 【運営】維持管理費の削減を図る。	新南陽総合支所維持管理の適正化を図る。	33,625	0.80	2.30	
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12501	事務事業名	新南陽総合支所整備検討事業費		
担当部・課名	新南陽総合支所 地域政策課 地域拠点整備推進室	評価者 (課長)	上杉 方治	評価責任者 (部長)	松村 悟

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	900401	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4公共施設老朽化への対応			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)公共施設老朽化への対応			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	新南陽総合支所及び西消防署	事業の目的 (意図)	新南陽総合支所及び西消防署は、両施設とも建築後50年以上経過し、老朽化が進み、耐震性も不足していることから、市民の安心・安全の確保及び利便性の向上を図るため、現在の敷地を有効活用し、消防との一体的な整備をするものとする。
事業の内容 (手段)	敷地約13,000㎡の有効活用を図るために道路の位置・線形を決める必要があることから道路測量設計業務委託と用地測量業務委託を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	—	2.0
	業務委託件数	実施件数/予定件数	件	実績値	—	2.0	—
				達成度(%)	—	100.0%	—

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	8,600	—	—
うち一財		千円	—	8,600	—	—	
(決算額)	直接事業費	千円	—	8,059		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	—	8,059		新南陽総合支所庁舎解体設計業務委託料(4,733千円)は、消防総務課で予算計上のため	仮庁舎賃借料、仮庁舎インフラネット、仮庁舎整備工事費、仮庁舎移転費、記念碑等移設費等予算計上のため。
	正職員人件費	千円	—	2,931	—		
	人工数	人	—	0.40	—		
	支出コスト	千円	—	決) 10,990			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度に新南陽総合支所及び西消防署庁舎整備基本構想を策定し公表した。平成27年度に基本構想の整備計画を見直し、平成28年度に道路の位置・線形と西消防署の位置を決定した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・敷地全体の有効活用について ・今後の総合支所の方向性と他の公共施設との整合性について
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	平成32年度中の西消防署供用開始を目指す。構内道路を市道で整備する。今後の総合支所の方向性について検討する。	評価責任者コメント	将来のまちづくりを見据える中で、土地の有効活用を図るため、整備計画の見直しを行った。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
仮庁舎への移転経費等については、新南陽総合支所管理運営事業において計上している。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽総合支所整備検討事業	道路の位置・線形の決定 西消防署庁舎の位置の決定	道路測量設計業務 用地測量業務	8,059 可	0.40	0.00	
②							
③							
④							
⑤							